

No.150

令和2年2月20日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



「校風」とは？

「校風とは？」と問われて、あなたはなんと答えるのでしょうか？一言ではなかなか言い表せませんよね、辞書(ブリタニカ国際大百科事典)には、次のように解説されています。

学校の創立以来の基本理念、歴史的伝統、地理的環境などから醸成されてくる、それぞれの学校の特異な雰囲気ないし気風といったものをいう。無意識のうちに児童生徒に感化を及ぼすと考えられている。また校章、校歌、校旗、校訓などに具現化して、積極的に校風の強化をはかり、意識的に児童生徒の薫陶に利用することもある。

※薫陶＝その人の人徳によって感化すること。

創立以来の基本理念といえ、教育目標を思い浮かべてしまいます。では、「青陵中学校の教育目標を教えてください」の問いに、さっと答えられる方はどれほどいるのでしょうか(答は裏面に掲載しておきます)。なかなか言えるものではないですよ。青陵中学校でいえば、創立以来ではありませんが、やっぱり **All Fight!** でしょう。教育目標ではなく、学校スローガンとして位置づけられるものです。今でこそ市内の多くの中学校で、学校スローガンが掲げられていますが、**All Fight!** は、その草分け的存在です。なにしろ今から 57 年も前の昭和 37 年に制定されたのですから(私とほぼ同じ年齢です)。

公立の小中学校では、「特色ある教育活動」を展開し、その地域の風土や環境に応じた、いわば校風をつくらうとしてきました。青陵中学校には、夏みかん並木保全活動や応援団演舞があり、校風づくりに一役買っていますよね。でも、小中学校での校風づくりってなかなか難しいところもあるというのが本音です。

そこへいくと、私立の高等学校には「建学の精神」という基本理念があり、ことあるごとに話題にされますので、知らず知らずのうちに校風をつくりあげているように思います。身近な私立高等学校の「建学の精神」を調べてみました。

桜丘高等学校 「勤労」「創造」

藤ノ花女子高等学校 「誠をもって勤儉譲を行え」

豊橋中央高等学校 「純良」「健全」「有為」

豊川高等学校 「和敬」「信愛」「利他」「報恩」

校風がぎゅっと凝縮された場面のうちの 하나가卒業式です。2月中旬から私立高等学校の卒業式が始まりました。卒業式のスタイルや式の進め方の詳細は学校それぞれで、それぞれによさがあります。まさに校風が醸し出されているように感じます。

青陵中学校の卒業式は、卒業生には「感謝と希望」を、在校生には「祝福と決意」を求めています。そして、練習で大切にしているのは「厳粛と感動」です。厳粛とは、「おごそかで心が引き締まるさま」、感動とは「美しいものやすばらしいものに接して、強い印象を受け、心を奪われること」です。

(ここからは *Rising Sun* No.127 の焼き直しです) いつの頃からか「対面式」と呼ばれるスタイルで卒業式が行われるようになりました。最初は小学校で導入され、しだいに中学校でも取り入れられるようになり、今ではかなりの中学校で対面式の卒業式が行われているようです。これまで、校長として勤めた小学校(岩西小学校と栄小学校)でも対面式で卒業式が行われていました。

青陵中学校でも、対面式を取り入れるチャンスはきっとあったはず。でも、なんらかの理由によって従来式の卒業式の形態がこれまで引き継がれてきました。「保護者にとって、生徒の表情や様子が見やすい」等々、対面式は対面式のよさがあります。でも、せっかくここまで引き継がれてきた伝統あるスタイルです。伝統と格式にこだわって、従来式を引き継いでいくことも、また大切なことのように思います。従来式のスタイルで卒業式を行っているのは、もはや少数派かもしれません。少数派だからこそ、守り続けていく学校があってもよいと思いますし、それが校風を醸成することになっていくと思うのです。

教育目標

生きる力を身に付けて、21世紀をたくましく生き抜くことのできる知・徳・体の調和がとれた生徒を育成する。

- ・豊かな知性をみがく（知）
- ・協調と思いやりの精神を養う（徳）
- ・たくましい心身を鍛える（体）